

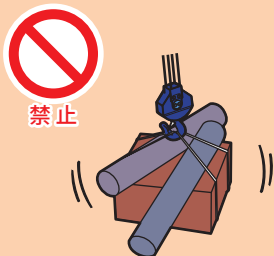
操作はゆっくりと、確実に、安全に運転してください。取扱説明書を読んで操作方法を理解してください。

オペレーティング プロセスガイド
安全運転のために

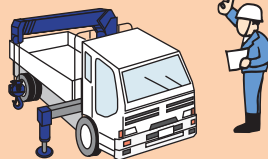
- 移動式クレーンの運転には資格が必要です。

つり上げ荷重	運転	玉掛け
0.5トン以上 1トン未満	特別教育	特別教育
1トン以上 5トン未満	技能講習	技能講習
5トン以上	運転免許	

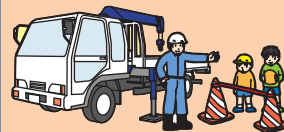
- 吊り荷に合わせた適切な玉掛けを実施してください。



- 点検 (日常、月例、年次) は法令で定められており、確実な実施が必要です。

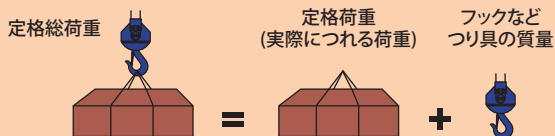


- 作業中、通行人や車両に危険が生じないように対処してください。



- 作業現場内に関係者以外の人や車両などが入ると、人身事故や接触事故の原因になります。

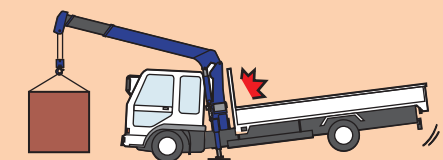
- 定格総荷重の範囲内で作業してください。



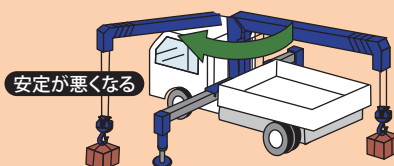
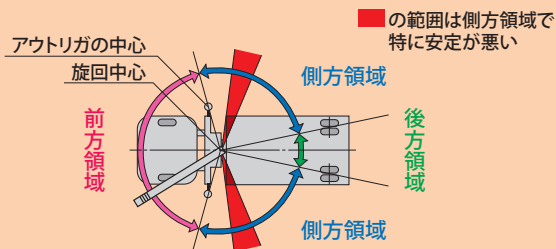
- 作業状態が安定限界または強度限界に近づくと、限界警報とブザーで警告します。限界になるとブザーが鳴り続けます。
- 停止仕様は、定格荷重を超える操作を行った場合、自動的に停止します。

- 旋回方向により、車両の安定が変わります。転倒に注意し、ゆっくりと操作してください。

- アウトリガより前方では、定格総荷重の1/4(25%)を超える作業を禁止します。



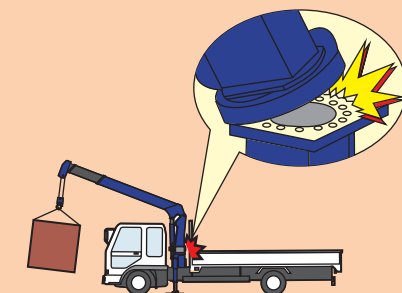
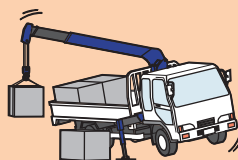
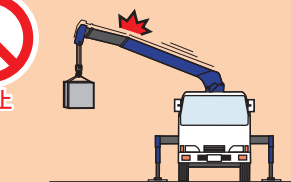
- 側方領域は、後方領域に比べ安定が悪くなります。



- 荷の横引き、斜めづり、引き込み、無理なつり上げは禁止します。



- 過負荷状態で運転はしないでください。(ポスト倒壊、ブーム折損、転倒)

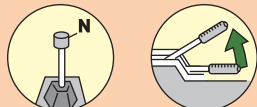


操作はゆっくりと、確実に、安全に運転してください。取扱説明書を読んで操作方法を理解してください。

オペレーティング プロセスガイド

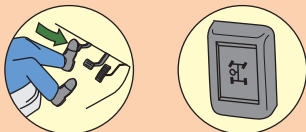
クレーン操作準備

- 1 地盤が堅くて平坦な場所を選んで停車してください。
- 2 トランスミッションを「N」または「P」にし、パーキングブレーキをかけてください。



● 上記を守らないと思いがけず車両が動く場合があるため順守してください。

- 3 クラッチペダルを踏み込み、PTOを「ON」にしてください。

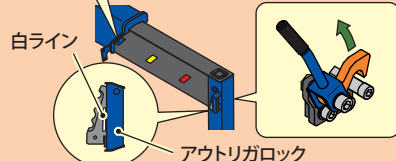


(PTOをON)

● 車両メーカー発行の取扱説明書に従ってください。

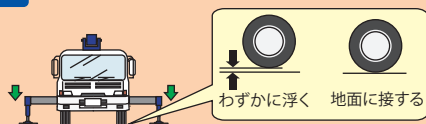
- 4 走行用ロックを解除してアウトリガを最大に張り出してください。

青色張出マークの位置
※マークの色、数は製品により異なります。



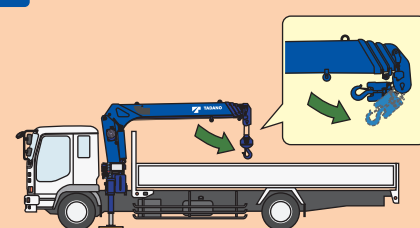
- アウトリガロックの白ラインが見えていること
- アウトリガの張出幅によって、定格総荷重が変わります。
- 最大張出(青)、中間張出(黄)、最小張出(赤)

- 5 車両を水平に設置してください。



- 地盤の状態に合った養生をしてからジャッキを設置してください。
- 機械が水平に設置できるように地盤を整地する。
- 地盤の状態に合った面積と強度がある敷板を敷く。
- 前輪がわずかに浮くか、地面に接する程度にジャッキを設置してください。

- 6 フックを取り出してください。



- 7 作業前の点検を行ってください。

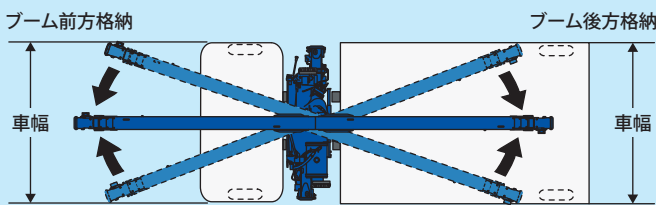


● 点検を怠ると安全装置や機械の異常を発見できず危険です。

走行姿勢へ

- 車検登録時の走行姿勢になっていることを確認してください。

ブームを車幅からはみ出さない。



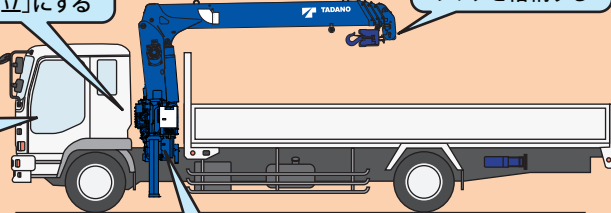
ブームを銘板で指示された方向に向ける

ブームを全縮小、いっぱいまで下げる

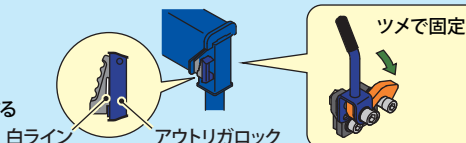
操作レバーを「中立」にする

フックを格納する

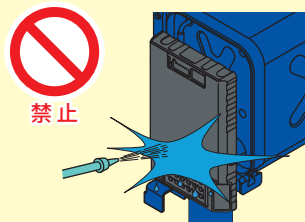
PTOを「OFF」にする



- ジャッキを完全に縮小する
- アウトリガビームを完全に押し込む
- 走行用ロックで固定する
- アウトリガロックレバーでロックする(パワースライド仕様)



- 電装部品は、高圧洗浄しないでください。



- 内部に水が入り、クレーンが異常な動きをする恐れがあります。

- 旋回装置に異常(ガタつき等)があるときは、フックを車体に固定し、直ちにタダノ指定サービス工場で点検・修理を行ってください。

